

## 【TENTOK】セルローズ樹脂複合ペレットを開発

### 自社で微細化セルローズから複合樹脂ペレットまで一貫生産

### ガラス繊維強化樹脂の代替として活用 モビリティ用途として社会実装を目指す

～ 2024年1月31日～2月2日 東京ビッグサイト「nano tech2024」出展 ～

※5V-09 富士市 CNF プラットフォーム 内

TENTOK 株式会社

2024年1月26日 17時00分リリース

**TENTOK 株式会社は、セルローズ樹脂複合ペレットの開発を進めるため、経済産業省の「成長型中小企業等研究開発支援事業」（Go-Tech 事業）の採択を受け、補助金を活用して二軸混練機を導入し、マイクロセルローズファイバーの製造からペレット化までの一貫生産体制を構築しました。2024年1月31日～2月2日に開催される「nano tech2024」（東京ビッグサイト）において、富士市 CNF プラットフォームブース内（東5ホール小間5V-09）に出展致します。**

TENTOK 株式会社（静岡県富士市、旧天間特殊製紙株式会社、12月1日より社名変更）は、植物由来のマイクロセルローズファイバーと石油由来樹脂を混練した環境配慮型の複合ペレットの開発を進めるため、二軸混練押出機を導入しました。

今回、導入した装置は、小型の同方向回転二軸混練押出機（芝浦機械株式会社製）であり、フル生産で約10t/月の生産能力を有します。

2022年に経済産業省の「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）」に採択され、その補助金を活用して導入したものです。静岡県産業振興財団（事業管理団体）の下、国立大学法人静岡大学グローバル共創科学部（青木憲治准教授）とモビリティ、家電等、樹脂成形品を取り扱う業界に向けて、上記の複合ペレットの共同開発を行っております。

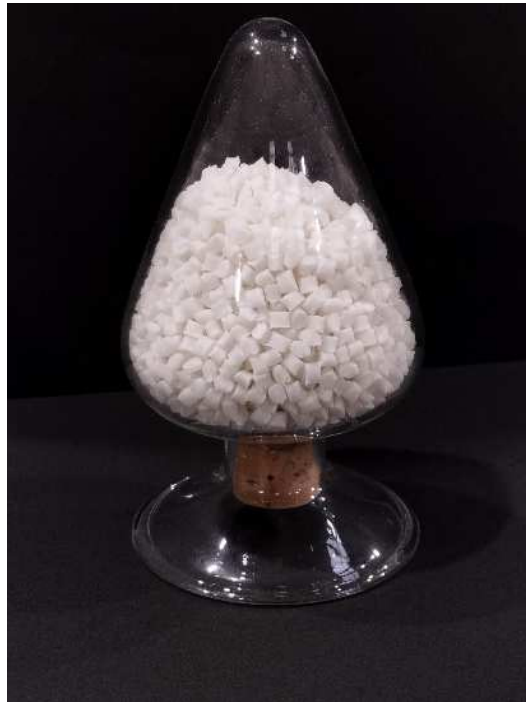
弊社は、2016年にマイクロセルローズファイバーの量産設備を導入し、その原料と化学合成繊維の混合シート「フィブリメルト®」は、2022年に富士市の CNF ブランド認定品として、認定を受けています（<https://cnf-fuji-pf.jp/brand/>）。

開発したマイクロセルローズファイバーと石油由来樹脂との複合ペレットには、「フィブリメルト®」の技術を活用しています。

今回、新たに二軸混練押出機を導入することで、マイクロセルローズファイバーから、複合樹脂ペレットまでを同社内において、一貫で生産できる体制を構築しました。



【写真】二軸混練押出機



セルロース/樹脂複合ペレット

上記のマイクロセルロースファイバーを用いた各種複合材料は、1月31日～2月2日に開催される「nanotech2024」（東京ビッグサイト、東5ホール小間5V-09）に出展致します。

<お問い合わせ先>

TENTOK 株式会社 製造部 第二製造課 岡風呂 兼一

TEL : 0545 71 2623

E-Mail : k.okaburo@tentok.co.jp